

## 教授会議事録

日時：平成25年4月9日（火）14時3分から17時58分

場所：電気通信研究所大会議室

新任の教員から、就任の挨拶があった。

新所長から、就任の挨拶があった。

### 議事録の確認

平成25年3月12日（火）開催の定例教授会議事録について、承認した。

### I. 報告事項

#### 1. 学内外諸会議等報告

##### (1) 部局長連絡会議・教育研究評議会

3月19日開催の部局長連絡会議について、配布資料に基づき以下のとおり報告があった。

- ①大学機関別認証評価について
- ②平成25年度予算
- ③キャンパス施設に関する将来計画のあり方検討ワーキング・グループ報告書
- ④地下鉄東西線事業に係る整備計画等
- ⑤平成24年度内部監査報告書
- ⑥国際コンソーシアムにおける活動
- ⑦平成25年度一般入試実施状況
- ⑧博士課程教育リーディングプログラム
- ⑨東日本大震災により被災した東北大学入学志願者等の入学検定料の免除
- ⑩片平北門会館宿泊棟：ユニバーシティ・ハウス片平
- ⑪仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度への入会
- ⑫全学的教育・厚生施設改修経費等
- ⑬全学的教育・厚生施設整備計画検討WG中間報告
- ⑭情報化推進の実施状況
- ⑮次期情報化推進アクションプラン検討PT報告
- ⑯研究用微生物安全管理体制の構築
- ⑰総長特別賞
- ⑱UCリバーサイド校リエゾンオフィス（報告）
- ⑲ミッションの再定義（途中経過）
- ⑳総長特別補佐（企画担当）候補者の推薦
- ㉑産学共同の研究開発による実用化促進（大学に対する出資事業）
- ㉒中期目標・中期計画の変更
- ㉓平成25年度年度計画（案）
- ㉔国立大学法人東北大学キャンパスデザイン室設置要項の制定
- ㉕東北大学スチューデント・ラーニング・アドバイザー実施要項
- ㉖東北大学大学院リーディングプログラム奨励金等に関する要項
- ㉗東北大学グローバルキャンパスサポーター実施要項
- ㉘教職実践演習の部局負担経費
- ㉙寄附講座及び寄附研究部門の設置
- ㉚学際科学フロンティア研究所の設置
- ㉛リサーチプロフェッサー制度の資格拡大によるプロジェクト体制支援

## ⑫ 規程の制定

## (2) 臨時研究所長会議

3月21日に開催された臨時研究所長会議について、資料に基づき説明があった。本会議の趣旨について説明があり、また、今回理事を招聘した理由等について補足説明があった。内容については、出資金制度、国際科学イノベーション拠点整備事業、COIプログラム等について、理事より説明を受けたとの報告があり、議長からCOIプログラムについて補足説明があった。

## (3) メディカルサイエンス実用化推進委員会

3月19日に開催されたメディカルサイエンス実用化推進委員会について説明があった。活動報告等について報告があったとの説明があった。

## (4) 国際高等研究教育機構運営審議会

3月19日に開催された国際高等研究教育機構運営審議会について説明があった。今年度の運営体制、規定改正、助教の採用について報告があったとの説明があった。学際科学フロンティア研究所における研究員のポストについて補足説明があった。

## (5) 国際高等研究教育機構運営審議会運営専門委員会

3月15日に開催された国際高等研究教育機構運営審議会運営専門委員会について、基本上記運営審議会と同じ議事内容であったとの説明があり、GCOEに関する特別研究員の人事について説明があった。

## (6) 総合技術部運営委員会

3月22日に開催された総合技術部運営委員会について、技術職員の組織、昇格等について議論したとの報告があった。また、今年度の全学の技術職員の人事異動、採用について説明があった。

## (7) 学生生活協議会

4月3日に開催された学生生活協議会について、今年度の委員の役割分担、日本学生支援機構奨学金変換免除者等について審議したとの説明があった。また、学生の事故、ユニバーシティハウス片平の部屋数、入居状況等について説明があった。

## 2. 運営会議等報告

## (1) 研究企画委員会

研究企画委員会について、前年度の最後の委員会なので活動報告などを行ったとの説明があった。また、独創的研究支援プログラムの申請について、募集する予定であるとの周知を行ったが、財政事情等を勘案して、募集を延期するとの連絡があった。

## (2) 人事委員会

助教の年俸制の今後について、現在年俸制で採用されている助教については、任期6年と再任された場合の任期3年についてはすべて年俸制で採用し、今後採用される助教については、月額制とすることとしたとの報告があった。また、助教に対してもこのことについて説明会を開催し、連絡したとの説明があった。

## (3) 安全衛生委員会

3月26日に開催された安全衛生委員会について、通研の職員が他部局において事故をおこしたので、現在労災を申請中であるとの報告と、職員の超過勤務について説明があった。

## (4) 建物環境委員会

建物環境委員会について、資料に基づき説明があった。共通スペースの借用希望について、ほぼ申請どおりに借用できることの報告があり、まだ若干の余裕があるので、借用希望者は連絡してもらいたいとの説明があった。

## (5) 総務委員会

総務委員会について、通研要覧を作成するので作業を進めていく予定であるとの報告があった。

## (6) 新棟建設検討委員会

新棟建設検討委員会について、資料に基づき説明があった。現在施工業者が落札により決定した段階であり、提示された計画図、工程等においても、大分未定の部分があるとの説明があった。外構については、本部事務機構キャンパス計画室と連絡を取っているとの報告があった。また、多数の工事が重複していることで工事車両による付近道路の渋滞について質問があり、現在本部施設部が検討しているとの報告があった。

## (7) ナノ・スピン実験施設

ナノ・スピン実験施設について、資料に基づき説明があった。研究基盤技術センター等と共同で申請したとの報告があった。

## (8) 学部教務委員会

3月18日に開催された学部教務委員会について、資料に基づき説明があった。アドバイザーの担務、工学セミナーの評価方法、来年度以降の再試験実施方法について、それぞれ説明があった。また、4月開催の学務教務委員会については、労働契約法改正に伴う学生の雇用について、5年を超えて採用されることへの対策として、学部4年、博士後期課程3年の卒業、修了前6ヶ月についてはTA、RAとして採用しないこととしたとの報告があった。

## (9) 電気・情報系進路指導委員会

電気・情報系進路指導委員会について、資料に基づき説明があった。学生の推薦業務に関する今後のスケジュールについて説明があった。

## (10) 寄附研究部門運営委員会

寄附研究部門運営委員会について、今月末で3年間の活動が終了するにあたり、4月25日(木)の午後に成果報告会を開催予定であるとの報告があった。具体的なプログラムは現在作成中であるとの説明があり、併せて報告会への参加依頼があった。

## (11) 通研学務委員会

通研学務委員会について、説明があった。今年度の構成員の確認及び計画及び通研の広報について議論したとの報告があり、前年度の学生相談室の活動報告について了承したとの報告があった。また、通研公開等通研の広報について、積極的にPRする旨の説明があった。

## 3. 共同利用・共同研究拠点について

共同利用・共同研究拠点について、資料に基づき説明があった。論文数等の記入について協力依頼があり、締切は4月10日であるとの報告があった。内容に関して何かある場合は、連絡してもらいたいとの報告があった。また、共プロ発表会、アンケートについて説明があった。

#### 4. 平成24年度共通施設等決算報告

以下の施設責任者等から、平成24年度決算報告について、配布資料に基づき報告があった。

- (1) ナノ・スピンの実験施設
- (2) IT・21センター
- (3) やわらかい情報システム研究センター
- (4) 研究基盤技術センター
- (5) 図書室

#### 5. 平成25年度通研共同プロジェクト研究提案書の採択について

平成25年度通研共同プロジェクト研究提案書の採択について、資料に基づき説明があった。申請72件において3名の審査員がすべて不採択としたプロジェクトはなかったため、結果としてすべて採択されたとの報告があった。しかしながら、不採択と判定された審査員のコメントについて、当該プロジェクトに連絡して検討してもらう予定であるとの説明があった。

#### 6. 電気通信研究機構について

電気通信研究機構について、以下のとおり報告があった。

- (1) 機構として、平成26年概算要求事項（特別経費）及び平成25年度総長裁量経費要求事項について資料に基づき説明があった。
- (2) 3月25、26日に開催した耐災害ICTシンポジウムについて、関係者に対して謝辞があった。
- (3) 4月4日にフランス、エジプト、東京、仙台を結んで、テレビ会議にて第1回WGを開催したこと。

#### 7. その他

- (1) 職員及び学生の受賞について

議長から、配布資料に基づき報告があった。

- (2) 受託研修員の受入について

議長から、配布資料に基づき報告があった。

- (3) 通研リサーチフェローの称号付与について

議長から、配布資料に基づき報告があった。

- (4) 研究所等研究生の受入について

議長から、配布資料に基づき報告があった。

- (5) 民間等との共同研究の受入について

議長から、配布資料に基づき報告があった。

- (6) ロードマップの改訂について

配布資料に基づき報告があった。資料中業者デザイン案の挿絵について、各部門のWG委員に現在依頼しているとの報告があった。また、現在使用されている挿絵から、資料WGによる概念図案のとおり変更する可能性についてWGにおいて検討しているとの報告があった。

- (7) 奨学寄附金及び受託研究の受入及び平成24年度第4四半期及び平成25年度年間分報告

事務長から、配布資料に基づき報告があった。

(8) 平成24年度電気通信研究所研究教育助成金経理報告

事務長から、配布資料に基づき報告があった。

(9) 過半数代表者及び労使協定について

事務長補佐から、平成25年度過半数代表者が選出されたこと、また4月1日付けで以下の労使協定を締結した旨報告があった。

- ①時間外労働・休日労働に関する協定届（36協定）
- ②専門業務型裁量労働制に関する協定届
- ③専門業務型裁量労働制に関する協定書
- ④計画的年次有給休暇付与に関する協定書
- ⑤再雇用制度の対象者に係る基準に関する協定書の解約に関する確認書

なお、計画年休について8月13日から16日となっていることが説明された。

## II. 協議事項

### 1. 今後の研究所について

議長から、意見交換のため、今後の研究所について以下のとおり説明があった。

- ①大学らしい自由度の高い研究の仕組みを維持するには、成果のエビデンスが必要であること。このため延び延びになっていた外部評価を実施すること。またそのためのWGを設置し、検討すること。
- ②研究室の研究とは別に、研究所が謳う有機的連携を実現する研究を推進する必要があること。そのため、特別経費の要求を含めた諸々の方策を研究企画委員会において検討すること。
- ③通研の教員人件費が平成27年度から現員分を下回ることに対応するため、将来の分野や人員の配置、予算などの検討が必要であること。そのための諸々の方策を将来計画委員会において検討すること。
- ④通研の新棟建設に関し、不足分を所が大学から借り入れて償還することになっているが、額が巨額であり、またその経緯についても認識を共有する必要があるため、本部と協議したいこと。
- ⑤新棟建設中の環境や建設後の維持管理に関し、建物環境委員会・新棟建設検討委員会で検討すること。

### 2. 平成25年度委員会等委員について

平成25年度委員会委員について資料に基づき説明があり、一部修正の上承認した。なお、今後は青葉山の委員会委員を加え次回教授会において配布予定であることが説明された。

### 3. 平成26年度概算要求について

議長から、平成26年度概算要求について資料に基づき説明があった。実際本部事務機構に提出したものであるとの説明があり、審議の結果、承認した。

### 4. 平成25年度総長裁量経費について

議長から、平成25年度総長裁量経費について資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。

### 5. 非常勤研究員の任用について

議長から、非常勤研究員の任用（新規1名、継続2名）について提案があり、審議の結果、承認した。

### 6. 部局間協定について

台湾国立中山大学物理系との部局間学術交流協定の締結について説明があり、審議の結果、承認した。

## III. その他

### (1) 日本学士院賞の受賞について

議長から、日本学士院賞の受賞について、6月25日（火）に記念講演会と祝賀会を開催する予定であると

の報告があり、併せて参加依頼があった。

(2) RIEC News の案内

RIEC News の案内について資料に基づき説明があった。締切が5月10日となっているとの連絡があり、併せて原稿提出の依頼があった。

(3) RIEC Award の募集について

RIEC Award の募集について、通研ホームページにおいて公開されているので積極的に推薦して頂きたいとの依頼があった。

(4) 総務委員会からの依頼等

以下のとおり総務委員会からの依頼等があった。

①通研要覧の和文、英文、研究活動報告の英文の原稿作成をそれぞれ依頼するので、協力願いたいとのこと。また、今後の作成スケジュールについて説明があった。

②オープンキャンパスが、7月30、31日に開催されるので、前年度の総務委員会幹事、通研学務委員会委員長等と連携して計画する予定であるとの説明があった。

③通研公開が、10月12、13日に開催されるので、公開実験、工作教室を行う研究室を選出するため、各部門長に依頼する予定であるとの説明があった。

(5) 退職者からの挨拶

寄附研究部門が4月末で時限を迎えるにあたり、退職の挨拶があった。

(6) 次回の開催について

平成25年5月14日(火)14:00から開催することとした。

以 上